



八幡馬の絵付け

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

見本を参考にしたり構図の下絵を考えたりしながら、白木の八幡馬にマーカーで着色をします。

1 ねらい

古くから作られてきた八幡馬の絵付け活動を通して、県南地方に伝わる伝統工芸文化を体験させます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
(1グループ4～8人程度)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員が説明を行うことができます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	特になし	
個人	特になし	
自然の家	・絵付け用サンプル ・ハサミ ・のり ・ペイントマーカー ・構想用下書き図 ・テーブルクロス ・新聞紙 ・木工ボンド ・色鉛筆	
斡旋可能	・八幡馬セット (白木の八幡馬、麻糸の束)	・1セット1,050円 (白木と毛のみ1,026円)

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の総括、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② 作り方の説明
- ③ 製作（構想、絵付け、尾・たてがみの取り付け）
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

・日本三大駒は、八幡馬（青森県）、木の下駒（宮城県）、三春駒（福島県）と言われている。

《資料》八幡馬の絵付けの仕方

1 構 想



- 全体の構想をねり、まとめる。
- ※下書き用紙がありますので、職員に相談してください。

2 図 案



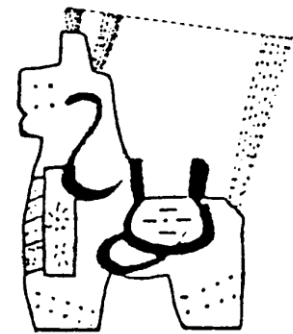
- 八幡馬に下描きをする。
- 配色を考える。

3 絵 付



- 模様が下になる部分から描く。
- すぐ重ねて描くとにじむので、少し時間をおく。
- 細かい部分を描く。
- 十分に乾かす。

4 取 付



- たてがみをつける。(耳の2倍)
- 尾をつける。(耳の高さにする)

5 完 成

